

教室掲示
お願いします

SSH 通信

第4号

平成 29 年 9 月 19 日発行
編集：Ⅱ年 5 組 SS 委員

韓国研修

韓国研修とは、韓国の天安中央高校で韓国の生徒とともに物理や化学の実験を協力して行い、さらにホームステイなどを通して韓国文化に触れるプログラムです。韓国の生徒との会話は基本英語で行います。7/24（月）～7/27（木）までⅡ年 5 組 40 名が参加しました。



1. 日程

- ◎ 1 日目（7/24）
 - ・広島から韓国へ飛行機で移動
 - ・バスで天安中央高校まで移動
 - ・開校式、歓迎会
- ◎ 2 日目（7/25）
 - ・岡山大学の渡辺先生の講義
 - ・2 グループに分かれて研修（A：物理、B：化学）
 - ・ホームステイ
- ◎ 3 日目（7/26）
 - ・2 グループに分かれて研修（A：化学、B：物理）
 - ・閉講式
 - ・バスで空港近くのホテルへ移動
- ◎ 4 日目（7/27）
 - ・韓国から広島へ飛行機で移動

2. 実験—化学—

(1) 実験の概要

塩橋、二酸化チタン電極、白金電極を使い水素を発生させ(本田・藤島効果)、水素エネルギーに関する考察を日韓の生徒合同で行いました。

(2) 実験の様子

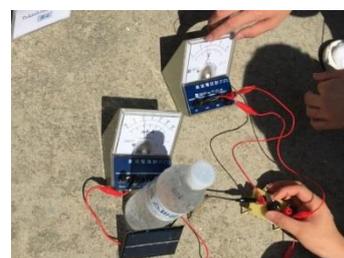
先生の英語の指示を受け実験をスタートしました。実際に実験をすると、塩橋が上手くできない、試験管の大きさが違う、加熱装置が足りないなどといった様々な問題が起きましたが、どの班も韓国の生徒とともに協力して対処していました。情報伝達に苦労することもあります。普段の英語の授業では味わえない、英語を実際に使う感覚は新鮮でした。



3. 実験—物理—

(1) 実験の概要

太陽光パネルの最も効率的な回線や角度、実社会での利用について考えることを通じ、持続可能な社会についてディスカッションしました。



(2) 実験の様子

実験では測定するだけでなく、測定結果から複雑な計算を協力して行い、時には創造力を必要としながら、答えを導き出していきました。専門用語を必要とする英会話は難しいですが、数式は世界共通です。議論はとても盛り上がりました。



4. 休憩時間

韓国研修では休憩時間をはじめとする細かい空き時間でも仲が深まりました。お互いのことはもちろん、最近話題になっていることや、お互いの国の知っていることなどあらゆることが話のネタです。例えば、「君の名は。」は誰もが知り



おり校内にポスターまでありました。また、作品中で流れる「前前前世」や「なんでもないや」も人気でした。また、ラブラブを完璧に踊れる人や、雪の華を歌える人などいて、韓国の生徒は日本文化を身近に感じているようです。



昼休憩は日韓戦と称してサッカーをしました。ゲームは白熱した展開でしたが、とても楽しかったです。

5. ホームステイ

韓国は「おもてなし」の精神にあふれていると聞いていましたが、実際にホームステイで各ご家庭にお世話になり、そのホスピタリティに圧倒されました。時間の許す限り、街歩きや買い物に連れて行って下さったり、豪華な食事やもちきれないほどのお土産など、本当に良くして頂きました。

余談ですが、道中10棟くらいを同時に建てているような建設中のマンション群が何か所もあり、都市部の人口集中を実感しました。

街にはユニクロやセブンイレブンなど見慣れた店もあるだけでなく、韓国語の店にも日本語の商品が並んでいました。韓国の生徒とともに街を堪能しました。



■ 感想（生活編） ■

- ・とても楽しかった。韓国で歓迎されたことに加え、生徒達と仲良くなったことで、1月の訪日研修が楽しみになった。
- ・料理がとにかく辛かった。日本のキムチとは比較にならない。
- ・韓国で日本のアニメはとてもポピュラーなのだと実感した。
- ・街を案内してくれたおかげですごく楽しかった。広島を案内するのが楽しみになった。
- ・ステイ先のお父さんはとてもいい人で、言葉は伝わらなくても身振り手振りで自分に伝えようとしてくれていた。またハングルで書かれた一度は読んで欲しい本をいただいたので、ハングルが読めればいつか読みたいと思う。お父さんは僕に「君たちの世代は戦争を知らないから歴史を忘れて交流して欲しい」と言われた。とてもいい言葉だと思った。

6. 韓国料理

韓国料理はとにかく辛いです。それと焼き肉が多いです。どこへ行ってもキムチは必ず出てきます。とても辛いです。美味しくいただきました。

また、韓国では白米で食べることが少ないそうです。ごはんは大抵スープに入れるか、なにか辛い物を混ぜます。スープに入れるのはあまり慣れませんが、味が変わって楽しかったです。

店で売っている食品は日本でも売っている物が多く、中には日本語表記のものまであります。日本と韓国の近さを実感しました。



■ 感想（学習編） ■

- ・実験で上手くいかない部分もあったが、上手くいかない時こそ英語を使わなければならず勉強になった。
- ・英語はもちろん、日本語まで話せる韓国の生徒が少なからずいて刺激になった。
- ・自分が考えた複雑なことを出来るだけ簡単に説明できるようにしておきたい。疑問点や反対意見をしっかり伝えられるようになりたい。単位の計算など科学的スキルもアップさせないといけない。
- ・韓国は近いようで、遠いところもあるし、やはり近いところもある。大切なことは自分の思っていることをどうにかして伝えようとする気持ちや、みんなが同じ方向を向いて考えることだと思った。
- ・班の人と実験したり、議論したりし、互いに刺激し合い、よりよいアイデアを出すことができました。でもまだ、韓国の生徒に議論のリードをしてもらい、それについていくという感じがぬぐいきれませんでした。次の訪日研修までに科学のスキル、英語のスキルをもっと上げて、今度こそ自分が話題、問いを投げかけて議論をリードできるようになれたらいいなと思いました。

■ 編集後記 ■

- ・韓国研修は韓国の生徒さんに本当に手厚くもてなして頂き、とても楽しいものでした。また、英語など様々な面で刺激をもらいました。このプログラムの成果が少しでも伝われば幸いです。（SS委員）
- ・今回の韓国研修では、科学や英語の研修だけでなく、韓国の文化に触れることができ、大きく成長することができました。この経験を無駄にせず普通の生活に活かせるようにしたいです。（SS委員）